

Kandai Style

2021.6 Vol.490
関西大学通信



目標に向かって前進あるのみ!

関大体育会の「今」

目標に向かって前進あるのみ! 関大体育会の「今」

今月号の特集では、45団体ある体育会の中から拳法部、航空部、ゴルフ部、馬術部、ヨット部の5団体を紹介します。それぞれの主将にインタビュー取材を行い、活動が制限された期間に取り組んだことや感じたこと、今年の目標などについて聞きました。

ヨットには470級とスナイプ級の2つのクラスがあります。海を風上に向かって進み、マークというブイを回り、追い風に乗って戻ってくるまでのスピードを競うスポーツです。全日本学生ヨット選手権大会総合優勝を目指しています。

自然を相手にするスポーツなので、けがはもちろん命の危険といつも隣り合わせ。でも、海と空に囲まれた静かな自然の中を、帆に風があたって進むヨットは爽快感があって面白い。風に乗っているようなイメージです。

自粛期間中は週に一度のZoomミーティングと個々に決めたメニューで筋トレをして体力が衰えないように努めました。普段の練習は海上練習に時間をあてているので、体力強化に時間を充てられたのはいい過ごし方ができたと思います。

今年はクラブで活動ができる最後の年。インカレは団体戦で3艇の成績の合計で順位が決まります。1艇だけが成績が良くても他が良くなければ点差が開いてしまいます。自分が持っている技術や知識、みんなでも共有している道具を大切にすることをしっかり後輩に伝えていき、まずはインカレ出場そして優勝につなげます。

ヨット部

主将 井堰 威瑠 さん
(人間健康学部4年次生)



航空部

主将 中屋 耕輔 さん
(システム理工学部4年次生)

グライダー(滑空機)というエンジンのない飛行機に乗って、決められたコースを安全にいきなり早く周回するかを競う競技です。主な活動は、週末や長期休暇を利用して行う滑空所での合宿準備。グライダーに乗って滑空するには合宿の約1カ月半前から安全を守るためのさまざまな手続きが必要です。空を飛んでいるときは、常に頭の中で着陸するまでに必要な高さや速さ、飛行距離を計算しています。先を考えて頭の中で計算しながらグライダーを操縦するのが楽しくて仕方ありません。

活動できない期間はZoomミーティングで、上昇気流のような自然現象や速度と飛行距離の計算など競技に必要な知識を得るための勉強会をしていました。グライダーは技術の上手さよりも、本気で勉強し、経験を積んだ方が力となって強くなります。とは言っても、準備を重ねた合宿がコロナの影響で続いて中止になったときは辛かったです。

今年の目標は、安全面に対する意識を全員が持ち直すこと。そして、丁寧に練習して元の活動状態に戻すこと。全国大会の優勝はその次の目標です。



日本拳法は防具を付けて、突き・蹴り・投げの技を織り交ぜて戦う総合競技です。無差別で戦うので、一つ一つの技を磨けば体が小さくても大きな相手に勝てる可能性があることやさまざまな技で戦えるところが魅力です。

試合では防具を付けますが、例えば突きが顔に入ると首や肩への衝撃がすごいので、けがを防ぐために細かな筋肉まで鍛えます。体重や食事の管理、トレーニング方法などが勝負に影響します。活動自粛期間中は部員一人一人がランニングや体幹トレーニング、筋肉トレーニングに励んでいました。

中止になる試合が多かったので目標がなく、モチベーションを保つのは正直大変でしたが、全日本学生選手権が開催されるのが分かってから「そこで優勝するぞ!」という気持ちで練習をがんばりました。結果は、男女共に団体準優勝。練習できなかったときに各自が自分を追い込んでトレーニングを行ったことが実を結んだと実感しています。今年は全日本大会(団体)で男女共に優勝することが一番の目標です。

写真提供: 関大スポーツ



拳法部

主将 村鞘 風太 さん
(商学部4年次生)

ゴルフは自分の課題を正確に理解し、その課題に対して的確にアプローチする練習が重要です。

自粛期間中は、アプリを使用したランニングやZoomミーティングを行って、チームの二つの目標「1部リーグ昇格」「総合関関戦の勝利」を共有し、個人の課題が明確になりました。

昨年は新入部員の勧誘はできませんでしたが、SNSを見て13人の1年次生が入部してくれたのはうれしかったです。活動が再開してからは、未経験者、経験者、上位年次生で構成するチームに分かれて練習に取り組みました。限られた時間で質の高い練習をしたい、やる気のある人が伸びる環境を作りたいと考えたからです。経験者がいることでプレーに対する見方、考え方が変わります。後輩たちはまだまだ伸びる要素があるので、どのようにして教えていくのか楽しくやりのがあります。

昨年度の2部リーグ戦で優勝して、1部リーグ戦で戦えたのは大きな財産。今年度のリーグ戦は今まで以上に貴重な大会になるので、大切に戦っていきたいです。

ゴルフ部

主将 森継 章仁 さん
(人間健康学部4年次生)



馬術部は個人・団体共に障害飛越競技に力を入れています。全日本学生賞典障害飛越競技大会で団体優勝した経験があるので、今年の中日本でも優勝することが目標です。

他の競技との違いは馬の命を預かっていること。活動できない期間は、担当馬に会えない日が1、2カ月ほど続いたので走り込みなどのトレーニングをしながら「元気になっているかな」と気になりました。練習ができるようになってからは担当馬ののんびりとした雰囲気気持ちに救われました。

昨年度はほとんどの試合が中止になったため、部員のモチベーションが下がっていました。このままではいけないと思いコーチたちとも相談して、練習を試合形式で行う部内戦をすることにしました。馬場に経路を作り、賞状も手作りしました。部員に「全日本出場に向けて一緒にがんばろう!」などの声掛けをするように心掛けています。

2021年も気を抜かず感染症対策をしっかりとしつつ、開催される大会には全て出場したいです。



主将 福島 秀太 さん
(人間健康学部4年次生)



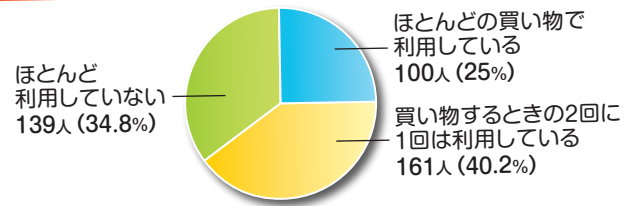
馬術部



関大生のキャッシュレス事情

キャッシュレス決済とは、文字通り「現金を使わずに支払う方法」です。クレジットカードやプリペイドカードなどのほか、最近はスマートフォン決済を利用している人も多いのではないのでしょうか。関大生のキャッシュレス事情について調査しました。 アンケート期間:3月22日～4月12日 対象者:学生 回答者数:400人

Q キャッシュレス決済をどの程度利用していますか？

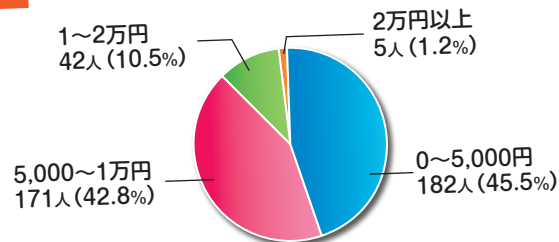


Q あなたがよく使うスマホ決済アプリを教えてください。(複数選択可。一部抜粋)

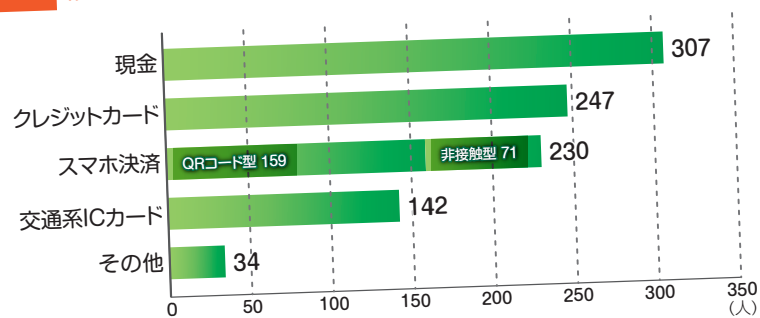
1位	PayPay	176	4位	Apple Pay	43
2位	au PAY・d払い	66	5位	LINE Pay	35
3位	メルペイ	58			

(単位:人)

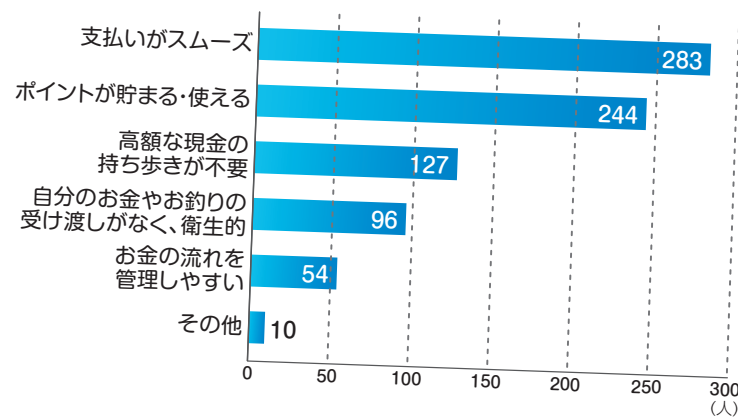
Q 財布の中に現金をどのくらい入れていますか？



Q 普段の生活でよく利用している決済手段を教えてください。(複数選択可。一部抜粋)



Q キャッシュレス決済はどのような点が魅力的ですか。(複数選択可)



使い分けの実態や経験談を尋ねました！

現金との使い分け、どうしていますか？

キャッシュレス決済

- 割引が受けられる場合
- 信頼できると判断した店で
- オンラインショッピング
- すぐに会計を済ませたいとき

現金

- 複数人で割り勘をするとき
- お金を使い過ぎたと感じたとき
- 財布の中の小銭を減らしたいとき
- 個人商店で(店側の手数料負担のこともあるのでなるべく現金で払う)

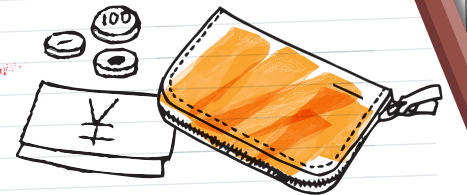
キャッシュレス決済でトラブルや困った経験があれば教えてください。

- 財布を持ち歩く癖が薄れてしまい、出先で免許証などの身分証明書が必要なときに困ったことがある。(社会安全学部3年次生)
- 支払後、数日してから通帳を見ると、誤って二重で引き落とされていた経験がある。これを機に定期的に通帳を見返す習慣がついた。(理工学研究科M2)
- 飲食店でQRコード決済のチャージを試みたが、銀行のメンテナンスのためできなかった。幸い友達がいたので支払えたが、無銭飲食になるところだった。(システム理工学部3年次生)
- 店によって使える決済手段が異なり、店員に尋ねても分からない。(文学部3年次生)
- 残高を確認して「こんなに使っていたんだ」とがくぜんとしたことはある。支払った金額を見ても、購入したものが何かすぐに思い出すが難しくなった。(文学部2年次生)

Cashless



Cash



アンケートから見えてきた関大生のイシキ

- 災害時などは停電でキャッシュレス決済が使えなくなる可能性があるため、必ず現金を持ち歩くようにしている。(社会安全学部2年次生)
- コロナ禍以降、お金を触ることが衛生的に気になり始めたので、細かいお金のやり取りが発生する場ではキャッシュレス決済を利用するようになった。(政策創造学部3年次生)
- 初めて行く医療機関は念のため現金を持つていく。(経済学部4年次生)



PROFESSOR'S COMMENTS 経済学部 坂根宏一教授

今回のアンケートでは、日常生活でのキャッシュレス事情が調査されました。特に「電子マネー」による決済についてです。ところで、学生諸君！電子マネーと仮想通貨

貨(暗号通貨)の区別がつかだろうか？電子マネーは発行主体が民間企業であり、法定通貨をデジタル化したSuicaなどのICカードがその典型例です。(アンケート調査にある、PayPayなどのQRコード決済サービスもありますが、ICカード型を念頭にお話します。)これは法定通貨を価値基準としていますが、仮想通貨は法定通貨を価値基準としていません。ビットコインがその典

型例です。法定通貨との交換は可能ですが、その価格変動幅は大きくなりがちです。これらをまとめて「デジタル通貨」などと呼ぶこともあります。(定義は曖昧で、違う意味で用いられることもあります。)最近、日本銀行は中央銀行が発行するデジタル通貨(CBDC: Central Bank Digital Currency)の実証実験を始めました。今後注目してほしい。

次回のテーマは…「関大生と資格」(仮)

関大生はどのような資格に興味を持っているのでしょうか。自分のスキルを高めるため、将来就きたい職業のため、また趣味のため。次号では資格取得に対する関心度や取り組み状況を調査します。

玩具業界／キャラクター版權管理

株式会社バンダイ

南中 光葉さん

兵庫県立星陵高等学校出身
2016年外国語学部卒業

今の自分に必要だと思うことに
必死に取り組む。気付けばそれが
将来に役立っています。

3年次の時、学部の成績優秀者表彰を受賞し、卒業時には卒業生総代として答辞を読んだ南中光葉さん。就職活動では、遊び心あふれるバンダイの社風に魅力を感じ、入社を決めました。6年目の今年は、メディア部で商品製作に必要なキャラクターの権利を版權元から借り受ける交渉や契約を結ぶ業務を担当。また、日本で愛されているキャラクターや商品を世界に届けるためのローカライズ業務にも携わっています。

学生時代は外国語学部祭典実行委員会に所属し、企画の運営に尽力しました。当初は責任感の強さから、全て自分で判断して作業を進め、時間と人手が足りない事態に。メンバーの協力で無事に開催できたものの、スケジュール管理と、仲間を信頼して任せることの大切さを実感したと言います。その経験は今の仕事にも生かされています。入社後に配属されたカード事業部で、アジア地域へのローカライズ業務を担当し、なじみのないアジア圏の言語のチェックに苦労した時は、いち早く仲間と協力を仰ぎながら大学で培った語学力を生かして乗り切ったそうです。

昨年4月にメディア部に異動となりましたが、カード事業部で培った商品開発からマーケティングまでの知識は、部署の垣根を越えて生かされると気付いたとのこと。「アメリカのデザイナーと共同開発したカードゲームを6言語翻訳し、世界で同時発売しました。自分の仕事が形になることにやりがいを感じます。今後は世界中のファンの方に喜んでいただけるように、世界同時展開できる商品を増やすことが目標です」。

興味のある分野があれば積極的に授業を受けていた南中さん。特に小論文は、書籍の内容を深く追求し、自分なりの解釈を加えて書いて勉強したことが成績優秀者に選ばれた理由の一つだと言います。

「直接仕事に役立つことを勉強するのではなく、今の自分が心から勉強したいことを必死に取り組んだ方が、絶対、将来に生きてきます。学生時代にしかできないことをやってください」とエールを送りました。

ある1日の
スケジュール

8:00 出社 メールチェック
8:30 業務スケジュールの立案
作業のTO DOリスト作成など
9:00 版權元との定例会
12:00 昼休憩
13:00 資料作成、アンケートの分析など
15:00 ユニット会(チームによる相談会)
17:00 企画書の作成など
18:00 退社



必須アイテムは、資料作成用のパソコンとテレビ会議用のワイヤレスイヤホン、スマートフォンと名刺入れ。その他、お気に入りのトートバッグ。

Rights
management

VIVA!!

学び易



商学部 商学科

「プロジェクト研究」

岡本 真由美 教授

小さな疑問に気付き、深く考える力を身に付けてほしい。

「なぜ」と問うことで、解決策が見えてきます。

英語に強いビジネスリーダーを育成するBLSP(Business Leader Special Program)。そのゼミを担当する岡本真由美教授の研究テーマは「ビジネスコミュニケーション」です。ゼミの学生たちはコミュニケーションに関する課題を抽出し、調査研究を通じて導き出した解決策を、ビジネスの場でどのように生かせるかについて考察します。

3年次では、ゼミ生をチームに分け、産学連携プログラムや他大学との合同ゼミなどで発表する調査研究を実施。調査研究では、インタビューや質問票調査、実験などによってデータを収集し、データ分析から得た発見や主張をまとめ、発表する力を養います。テーマは「旅行に行きたいと思わせるインスタグラム投稿」「マスクがコミュニケーションに及ぼす影響」「参加者の一体感を生み出すZoomの使い方」など。4年次では、新たなテーマについて研究し、その内容をプロジェクトペーパーにまとめ、英語によるプレゼンテーションと口頭試問を行います。

好きな言葉は、数学者の広中平祐先生の「素心深考」。学生には、「素朴な心で深く考える力(素心深考)を習得してほしい。先入観にとらわれず、素直な気持ちで疑問を持ち、それを深く突き詰めて納得できる答えを見つけてほしいです」と岡本教授。ゼミ生がありふれた答えを持ってきたときは「それであなたは納得できているの?」と問い、テーマの本質に気付いてもらうための助言をするそうです。

ゼミで培った「素心深考」を実践し、何気ない「なぜ」に気付き追究することで、今後、社会でどのような職種に就いても、次の一手を提案する力につながり、企業に貢献できる人材になると岡本教授は言います。

「苦勞の多い人生でも、いろいろなところに『なぜ』が転がっています。小さな疑問にも気付き、分からないことを面白がり、答えを探すことを楽しんでください。それが新たな道を切り開く扉になるはずです」と熱く語りました。



久保慧真さん(4年次生)



コロナ禍だからこそできるテーマを考え、「マスクによる弊害」について研究しました。ゼミ長として、全員が楽しくプロジェクトに参加することを目指すことで、仲間一人一人に配慮できる力が付きました。国際ビジネスの知識を生かし、将来は海外で仕事をしたいと思っていますので、英語力やリーダーシップといった、さまざまなスキルを身に付けていきたいです。

砂川智咲さん(4年次生)



2年次に岡本先生の授業を受け、コミュニケーション論に興味を持ちゼミを選びました。「旅行に行きたいと思わせるインスタ投稿」の研究では、西日本インカレの予選会を通過し、本選へ進むことができました。一人で行動することが好きな性格ですが、周囲と協力し、理解し合う協調性が身に付きました。将来はコミュニケーション力を生かせる仕事に就きたいです。

他大学にない地域密着型クラブ、 カイザーズクラブ —— サッカースクールから大型イベントまで ——

関西大学には他大学にはない「クラブ」があります。通称「カイザーズクラブ」。スポーツ活動と文化活動をミックスした地域密着型の組織で、サッカースクールから1万人近い子どもたちや市民が参加する大型イベントまで取り組んでいます。そのユニークな活動をのぞいてみました。

130周年記念事業として6年前に設立

クラブが誕生したのは2015年4月。関西大学創立130周年を記念した事業の一つとして設立された特定非営利活動法人で正式名称は「関西大学カイザーズ総合型地域スポーツ・文化クラブ」です。

普段は、体育会の各クラブ活動を基盤にした子どもたち向けの各種スポーツスクールを実施・運営していますが、最大のイベントは年1回の「まちFUNまつり」です。

1万人の「まちFUNまつり」

この祭りは子どもたち向けのイベントから産地直送の農産物の販売まで、多彩な行事で毎年1万人近い子どもたちや市民が参加します。2020年はコロナ禍により中止となりましたが、2019年は12月8日に開催。地域のママたちの趣味や特技を生かしたワークショップ、「わくわく科学実験」「丹波の農産物販売」「SDGs文字集めラリー」「ミズノ流忍者学校」などが行われました。

大切な地域との密着

イベントの中身はスポーツと地域文化活動に分かれます。スポーツ分野ではカイザーズクラブが運営しているサッカースクール、体操教室、バスケットボールスクール、テニスカレッジなどの紹介コーナーがあり、子どもたちはアスリート学生をサポートでそれらを体験しました。



スポーツ以外でも多彩な企画が展開されました。「丹波の農産物販売」では、丹波市でオーガニック農業を目指す農家の人たちが野菜や米などを即売するコーナーに人気集中。関西大学では丹波市内に設けた拠点を中心に、1週間泊まり込みで行う「滞在型交流ワークキャンプ」や地域住民との交流を通じて丹波の文化を学ぶ「地域交流ワークショップ」などを展開しており、こうした縁がこの企画に結び付けました。また子どもたちの人気を呼んだのが、「ミズノ流忍者学校」。体づくりに必要な基本動作を「遊びの術」を通じて子どもたちに教えるもので、4歳から小学校低学年の子どもたちが参加しました。



子どもたちも参加しています

昨年からコロナ禍のために予定していたイベントが次々に中止に追いつまれています。カイザーズクラブは今後もさまざまな方法を検討しながら、吹田市など各地域を中心とした「市民とつながる場」を創造する活動を目指します。最後に、イベントの「子ども店長」企画で寄せられた心温まるメッセージを紹介します。

息子は、普段縁のないアクセサリー売り場に配属となりましたが、とても喜んで楽しくお仕事をさせていただいたようです。お世話になった売り場の方もママですから、送り出す母は安心ですね。環境に恵まれました。キツザニアと違って、リアルの世界でお仕事体験ができたことは素晴らしい経験になったと思います。

お給料から、50円は本人が縁日で使い、残りを私のプレゼントとして髪飾りを買ってくれました。息子の初給料で買ってもらったプレゼントに感激した母でした。どんな高価な宝石よりも、キラキラと輝いてみえるものです。



法学部 3年次生

杉原 萌子さん

夢はチームにマーケティング部門をつくること。
選手を支えることにやりがいを感じます。

体育会アメリカンフットボール部のマネージャーである杉原萌子さんは広報担当として、チームの公式ウェブサイトやSNSで情報発信をしています。撮影した膨大な量の写真からできるだけ多くの選手の、またいい表情のものをを選び、チームの魅力を伝える努力をしています。動画共有サービスに新入生の勧誘動画や試合のハイライト動画なども公開しています。

「マネージャーに求められるのは、臨機応変に対応する力と柔軟性です。ビデオの撮影方法など、選手の要望に的確に応えなければなりません。特に広報担当には、どうすれば人を引きつける動画が撮れるかなど自ら工夫する柔軟な発想力も求められます」と杉原さん。コロナ禍で練習を自粛していた期間は、選手の筋力が落ちないようにトレーナーが選定したバランスのよい食事の写真をSNSで紹介するなど、先輩に相談しながら自らできることを考えたそうです。

入学当初、同級生に誘われて練習を見学したのがきっかけで「自分の人生で日本一を目指せる経験は今しかできない。大学生活を悔いのないようにしたい」と思い、入部を決めました。そんな杉原さんにとって印象深い試合は、2019年の関西学生リーグでの一戦。万博記念公園のエキスポフラッシュフィールドで行われたナイトゲームは、逆転のタッチダウンで立命館大学に9年ぶりの勝利。この勝利は、忘れられない思い出となりました。

「アメリカンフットボールはポジションが異なる選手全員が協力しなければ試合は成立しないため、チームワークの大切さを学びました。厳しい練習に励んでいて選手の中に身を置くことで、フィールド外でも選手と共に頑張ろうと思えることがうれしいです」と杉原さん。

「チームに広報を専門とするマーケティング部門をつくり、クオリティの高い動画を制作し、発信の頻度を上げることが目標です。そして、マーケティング部門に憧れて入部したいと思う新入生を増やしたいです」と夢を語りました。



尊敬する先輩と
試合の撮影をする杉原さん

今回は、杉原さんからのご紹介
で村田喜美さん(外国語学部
2年次生)が登場。お楽しみに!

Moeko Sugihara

学部・研究科・併設校トピックス

法学部／法学研究科

なんもない

6月は「なんもない月」である。国民の祝日すらない。法学部関連でいえば司法試験短答式の成績発表ぐらい。昨年はそれすらなかった。しかし、それはもちろん、世界中で大きな出来事があったからである。ただ、2020年6月末の報道をみると、世界の(!)感染者が累計で(!)1000万人(!)を超えたとある。本稿執筆時点の数字と比べると!!!である。「なんもない」ことが実はとてもありがたいことだと感じつつ、今年はほんとうに「なんもない」ことを願うばかりである。

(学部学生相談主事 葛原力三教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

コロナに負けるな、公務員志望者！

2020年はコロナという未曾有の事態で、大学生生活も一変しました。政治・行政の対応や医療従事者の奮闘を見て、自分にできることは何かを考えている人も多いと思います。本学部の政策公務セミナーは、公務員志望者に向けて実施しています。昨年は、オンライン形式という新たなスタイルで、行政の人の講演会や合格者との対話会が行われました。今年度も実施形態を工夫しながら、各種セミナーを実施しますので、公務員に興味のある人は、奮って参加してくださいね。

(教学主任 山中友理教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

大学生生活で学ぶこと

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症のまん延によって、これまで生物学に関心がなかった学生の皆さんも、急激にバイオテクノロジーについて次々と触れることになりました。代表的なものとしてPCRがあり、この言葉をニュースで見ない日はなかったと思います。

私が所属する生命・生物工学科では、このPCRは講義・実験科目で必ず学ぶ、非常に重要な技術です。ちなみにPCRは遺伝子配列の微妙な差を検出できるため、COVID-19の遺伝子だけを検出できます。生命・生物工学科の学生の皆さんは、大学で学ぶ内容が毎日

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

「本」を読みましょう

昨春は全面遠隔授業となり、『新入生に贈る100冊』電子版を利用した人も多かったと思います。電子書籍は確かに便利ですが、紙媒体の「本」のほうが実体のある分、五感を通じて脳を活性化させる、ともいわれています。

図書館には膨大な量の本が、皆さんに読んでもらえるのを待っています。3年次生になれば地下の書庫を自由に閲覧し、実際に本を手にとって選べます。大学院生なら書庫に併設された個室で本を読めるうえ、貸出期間も長くなります。ぜひ活用してください。

(教学主任 高橋美帆教授)

外国語学部／外国語教育学研究科

外国語を学ぶということ

文字入力や音声認識によって外国語に翻訳してくれるAI機械翻訳の精度が、近年著しく向上しています。そのような時代において、外国語を学ぶ必要はあるのでしょうか?外国語を使うときには、言語を操る表面的なスキルだけではなく、その言語が話されている文化への理解も必要です。そのため、小説家の村上春樹は"Learning another language is like becoming another person."とも言っています。外国語を学ぶことによって、異文化のみならず自分の文化への理解も深まり、自己認識が高まるのです。外国語を学んで私たちの人生を豊かにしましょう。

(入試主任 水本篤教授)

経済学部／経済学研究科

予測困難な時期から学べることは

1年次生の皆さん、もう大学生生活には慣れましたか。初めての学期末に向けて、準備は順調ですか。2年次生は秋学期から始まるゼミの決定時期ですね。3年次生と4年次生は長期的な将来を考えて、インターンや就職活動にいそんでいることでしょうか。このように普段、私たちは少し先の未来を考えて現在の行動を決めます。しかし、新型コロナウイルスの流行がそれを難しくしています。こんな時期にこそ、落ち着いて周りを観察し、重要な本筋を選ぶ能力を磨きたいですね。

(副学部長 北波道子教授)

人間健康学部／人間健康研究科

優しさと支え合いの連鎖

本学部は、これまで「人の健康と幸せを科学する」ことを追究してきました。皆さん、どうか関大人として、人の苦しみや悲しみ、幸せに寄り添い、支えることができる力を身に付けてください。世代を越えて人々を苦しめる「貧困の連鎖」に対峙できる「優しさと支え合いの連鎖」を生み出す人材であってください。人は「支え、支えられる」経験を重ねることで、次の他者へと「優しさ」をつなげていく「強さ」と「支え合う力」を身に付けます。皆さんがその起点となる人材となることを願っています。

(学長補佐 岡田忠克教授)

各学部・研究科・併設校のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

商学研究科GRプログラムが始動

商学研究科グローバル・リテイリング・プログラム(GRプログラム)が4月から始まりました。コロナ禍では店舗を構える小売業が厳しい状況におかれているのに対し、オンライン販売やプラットフォーム・ビジネスがより注目されるようになるなど、小売業をとりまく競争環境は大きく変化しています。

本プログラムは、このような小売業が直面する課題に対し理論と実務の両面からアプローチし、アジアの流通最前線で活躍する人材を育成します。詳しくは、商学研究科ウェブサイトをご覧ください。(藤岡里圭教授)

総合情報学部／総合情報学研究科

高槻キャンパス祭の開催

2021年度の高槻キャンパス祭は、コロナウイルスの影響を鑑みて、オンラインを基本とした開催に向け、現在検討を進めています。このキャンパス祭は、本学部のオープンキャンパスとしてスタートした、学部が開設された当初から開催されてきた伝統あるものです。そしてまた総合情報学部祭典実行委員会が企画・運営を行う「学生主体」のイベントでもあります。さまざまな制約がありますが、学生たちの力強いパワーを感じ取ってください。

(学生主任 谷本奈穂教授)

社会学部／社会学研究科

視野を広げるために

新型コロナウイルス感染症の流行は私たちの生活を大きく変化させています。その変化は私たちの身の回りのことにとどまりません。時間的にはより長期的に、空間的には世界各地で少しずつ異なる形で、さまざまな影響を与えています。学生の皆さんには、目の前のことに一喜一憂するだけでなく、変化を広い視野で受け止めて、不測の事態に柔軟に対応できる力を養ってほしいと思います。社会学部では、そのための手助けをできるよう、教員一同、新しい教育実践に取り組み始めています。

(教学主任 浜田明範准教授)

社会安全学部／社会安全研究科

学生ブログにて情報発信中

社会安全学部には、「社安な毎日」と題した学生ブログがあります。このブログでは、学生の安全・安心に関わる活動から、日常でのちょっとした出来事まで、リアルな学生生活の様子を発信しています。また、コロナ禍の中で、学生がどのようなキャンパスライフを送ってきたか・送っているかも知ることができるので、教員目線でもさまざまな気付きがあったりします。詳しくは学部ウェブサイトのトップページにある学生ブログ「社安な毎日」か、もしくは直接検索してみてください。

(河野和宏准教授)

法科大学院

無料法律相談を2021年度も実施

法科大学院では、2004年の創設時より社会貢献につながる授業の一環として、市民の皆さまを対象に、無料法律相談を実施しています。2020年度は新型コロナウイルスの影響により秋学期のみの実施となりましたが、12件の相談がありました。

本法律相談では、弁護士資格を有する実務家教員と、守秘義務を課された法科大学院生が協働し、法律に基づき問題解決に向けての具体的助言を行うことで、市民に寄り添うことができる実務感覚に優れた法律家の養成を目指しています。(大住洋特別任用准教授)

詳細については、
こちらから
ご確認ください。



関西大学初等部

第12回 関西大学初等部入学式を挙行了しました

4月7日、コロナ禍で懸念されていた入学式を無事に挙行することができました。

61人の新入生は真新しい制服に身を包み、1年生用の椅子に座り、名前を呼ばれると元気に返事ができていました。

実際に自分たちの教室に入ったのは次の8日、始業式の日。マスク着用のためお互いの顔もはっきりとは分からないスタートですが、優しく経験豊かな在校生の見守る中、関大っ子として考動力を養い、成長してくれることを期待しています。(教頭 田淵良二教諭)



Attention 大学からの重要なお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策の注意事項

皆さんが大学生活を送るうえでの注意事項です。一人一人の行動が大切な仲間を守ることに繋がります。参考にして感染拡大防止に努めましょう。

毎日の生活で心がけること

- 体温測定
- 良質な睡眠と食事
- 咳エチケットとマスク着用
- 手洗い・消毒
- 人混みを避ける

大学生活で心がけること

- 厚労省「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」へ登録
- 定期的な換気(ゼミ研究室・実験室・院生研究室など)
- のどの保湿(マスク着用や水分補給)
- キーボードや机、共用物を使う前後に手洗いや手指の消毒
- トイレ、エレベーター、扉のノブやスイッチに触れる前後に手洗い
- 筆記用具や教材等資料の共有を可能な限り避ける

黙食のすすめ



発熱、呼吸器症状、倦怠感、原因不明の嗅覚・味覚異常等ある場合には外出を控えて、医療機関に相談してください。体調についての相談は、保健管理センター、各キャンパスの保健室や保健センターでも受け付けています。(受付:月～金9:00～17:00)

- | | |
|-------------|---------------|
| ●保健管理センター | ☎06-6368-1175 |
| ●高槻保健室 | ☎072-690-2170 |
| ●ミューズ保健センター | ☎072-684-4120 |
| ●堺保健室 | ☎072-229-5090 |

関大トピックス

陸上競技部(男子)が大阪学生対校選手権で
54年ぶりのV

4月6日～7日に行われた第69回大阪学生対校選手権大会において、本学は男子の部で54年ぶりに優勝しました。特に円盤投と3000mSCではチーム最高得点を記録するなど、合計147ポイントを獲得し総合優勝を果たしました。

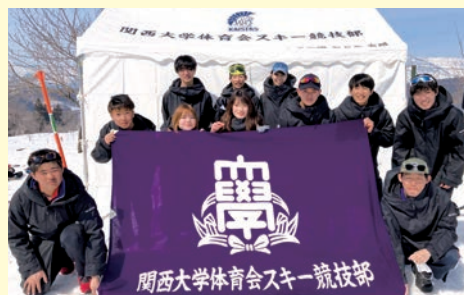
増田直樹主将(経済4)は「54年ぶりに優勝できたことはうれしい。コロナ禍においても各パートがしっかりと活動をしていた結果です」と振り返っていました。



総合優勝杯を掲げる増田主将
(写真提供: 陸上競技部)

スキー競技部(男子)が全関西学生選手権で2部総合優勝、
そして20年ぶりの1部復帰

3月5日～8日に行われた第91回全関西学生選手権大会において、本学はアルペンGSL(ジャイアントスラローム、大回転)で優勝、2位に西田一步さん(経済2)、3位に富森悠真さん(経済4)が入り、本学が表彰台を独占。総合得点172.0点を獲得し、見事総合優勝を達成。20年ぶりの1部復帰となりました。



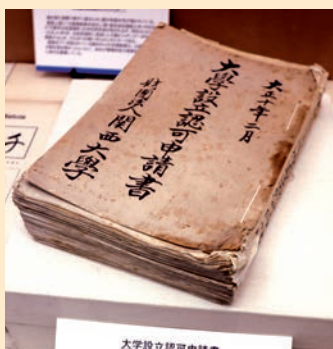
20年ぶりの1部復帰で喜び部員(写真提供: スキー競技部)

年史資料企画展「大学」が千里山へやってきた!!

千里山キャンパス博物館において、企画展「大学」が千里山へやってきた!!を開催しています。

本学の前身である関西法律学校の創立は1886年11月4日。その後、1918年に大学令が公布され、大学の設立が認可されたのは1922年6月5日でした。

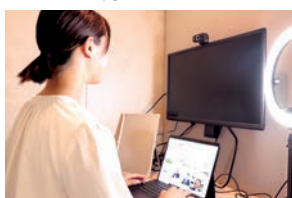
本企画展は2022年6月に大学昇格100年、ならびに千里山キャンパス開設100年の佳節を迎えるにあたり、これまでの発展の経過を振り返っています。千里山に校地を求めた理由や昇格後の変化などに着目。大学前駅の新設、学部学舎や図書館の建築、当時「東洋第一」と呼ばれた大運動場の完成など、千里山学舎開設前後のエピソードとともに、大学昇格に関する資料を展示しています。本企画展は来年2月28日まで開催していますので、大学の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。



大学設立認可が下りた申請書

キャリアセンターにプライベートブースを設置

各キャンパスのキャリアセンターにプライベートブースが設置されました。このブースは高い遮音性があり、周囲の音が全く気にならないので、オンライン面接などに安心して利用することができます。詳しい内容は、キャリアセンターまでお問い合わせください。



よもやまばなし
関大人 四方山話 ◆ 「The KAISERS」

スポーツ振興グループ(スポーツアドミニストレーター) 永富 慎也



スポーツアドミニストレーター(SA)を拝命して一番感銘を受けたのは、関大は体育会全体を「KAISERS」(カイザーズ)と称し、アスレチックロゴやユニフォームの色も統一されていたことだ。2004年4月に日本初としてスタートしていたことは衝撃的だった。

米留学時にフロリダ大「GATORS」(ゲーターズ)のアメフトの試合を観戦した。9万人を超える満員のスタジアムに足を踏み入れた瞬間の興奮は今でも忘れられないが、同時に米大学では当たり前にな

された“ニックネーム”に愛着を感じ、その活躍が大学への強い帰属意識となった。15年経った今でもGATORSのファンだ。

日本での先駆けとなっているKAISERSには、他大学には真似できない人の心を一つにする大きな求心力がある。そんなKAISERSとファンや仲間との接点を作り、強い絆に変えていくのがSAとしての私の任務だと考える。『KAISERS公式チャンネル』(YouTube)もその1つになればと日々配信中。Go KAISERS!



編集後記

新型コロナウイルスの影響により先の見えない今ですが、そのため不安を感じている人も多いと思います。このような状況だからこそ重要なのが目標を持つことです。目標があれば、不透明な状況下でも、目標達成のために、自分のやるべき事は何かを考え、見つけ出したことを実行することができます。たとえ目標を見失ったとしても、問題はありません。また新しい目標を見つければ良いだけの話です。目標を持つのは学生の特権ではないので、私も目標を持ち、その目標に向かって前進したいと思います。(広報委員・政策創造学部教授 西澤希久男)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日: 2021年6月1日

発行: 関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話: 06-6368-1121 (大代表)

関西大学は2022年に大学昇格100年を迎えます

今月の表紙

体育会拳法部、航空部、ゴルフ部、馬術部、ヨット部
写真の一部は関大スポーツ編集局の提供

感染拡大予防策を講じた上で、取材や制作を行っています。